

議員と語りかい 報告書

No 1

開催日	平成 25年 2月 4日 18:00~19:30		
開催場所	牧園農村活性化センター	参加人数	5人
出席議員 (4班)	脇元 敬、常盤 信一、前川原 正人、池田 守、徳田 拓志、蔵原 勇、 吉永 民治、時任 英寛		
役割分担	班長 (脇元 敬)	副班長 (前川原 正人)	
	記録係 (時任 英寛)		
意見交換会での 主な意見等	(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員の回答)		
	<p>◆①世帯数、人口減に歯止めがかからない。 旧牧園町(38自治会) 2, 726世帯→2, 680世帯 △46世帯</p> <p>②地域まちづくり支援事業(10年間)、まちづくり計画書策定、実施(2年目)、健康いきがづくり事業(5年間)などの業務が、新たに加わってきたことにより、館長・会長の業務増となり、就労中の方が役職を敬遠する。</p> <p>③親水公園建設について(平成24年9月11日に県・市へ陳情) (イ) 国のふるさとの川整備・水辺の学校事業(全国1千カ所選定) (ロ) 青少年健全育成事業として取り組みがなされ、国管理(1級河川)では県内でも整備された。(平成7年からの事業実施) 旧牧園町の時も県、町が計画書、計画図面にて地元で説明会開催。 (ハ) 平成24年9月11日の陳情提出後、10月、11月、平成25年2月1日と3回、県・市と街づくり促進会で協議し、当該事業は中止ではなく休止となっており、今後、市が先行して多目的広場等の建設を検討する。 (県知事・市長に対する陳情書の写しを提出してもらった) (二) 今後、議会へ当該事業の予算措置が提案された場合、十分な審議のうえ、ご協力いただきたい。 ⇒予算が提出された時は、内容を精査の上、委員会等で検討する。</p> <p>◆④物産館について (イ) 地元産品の直売所として、当該地域(牧園地区自治公民館内)に建設してほしい。 (ロ) 市外からの移住・定住者が転入された反面、日常的な利便性(買物、食堂、医療機関)がないことから、転出された方々もいる。 (ハ) 大手スーパーが進出することで解消できるが、不採算地域には出店しないので、地域の活性化や経済波及効果につながる物産館の建設が望ましい。</p>		

議員と語りかい 報告書

【 2月 4日 4班】

No.2

<p>意見交換会での 主な意見等</p>	<p>(凡例 ◆：市民の方々からの意見 ⇒：議員の回答)</p> <p>⑤親水公園、物産館、複合施設（児童クラブ含む）の拡充で、牧園の活性化策 （イ）国分・隼人地区は、工業・商業集積地として、周辺部は農業（漁業）・観光を中心にした活性化策の検討を求める。 （ロ）複合施設についても合併前からの要望事項であったが、未だに計画さえも示されていないので、早急な対応を求める。</p> <p>⇒物産館の建設については、まず、地域の皆様の熱意、行動が重要であり、既存の物産館においては、何十回となく地元と行政が打合せ、協議が行われ、相当な労力を費やして実現している。まずは、地元の皆様でしっかりと協議、検討をされるべきではないか。</p> <p>◆⑥市道 宿窪田～犬飼線について （イ）設計変更がなされ、新たに山間ルートの説明があったが、どのような経緯なのか。 （ロ）既存線の拡幅工事で十分と考える。新ルートに変更した場合、財政上も負担増になるのではないかと懸念がある。更には既設道路と新設道路の2路線となり、管理上も財政負担増になると考えるがどうか。</p> <p>⇒内容を精査、確認し、回答する</p>
	<p>◆⑦若い市職員が、国分・隼人へ転居している。周辺部の若年層の減は、合併の弊害と言えるのではないかと懸念がある。 国分一極集中ではないのか。総合支所の今後の在り方に懸念がある。</p> <p>⇒市内での市街地から周辺部への転居についても、移住定住促進事業の補助の適用が検討されている。</p>